

2021年7月28日
第138号

全労連 憲法 平和闘争ニュース

全労連
憲法・平和グループ

原水爆禁止 2021年世界大会オンライン(2021年8月2日-8月9日)

核兵器禁止条約発効後の初めての歴史的な世界大会

世界大会の魅力を語り、参加登録をすすめましょう

8月2日から9日まで、「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を一人類と地球の未来のために」をテーマに、原水爆禁止 2021年世界大会が開催されます。全労連は、世界大会への参加呼びかけのアピールを出しました(2ページ参照)。

日本原水協の公式サイトに原水爆禁止 2021年世界大会プログラム、広島・長崎現地企画、テーマ別集会のチラシがアップされました。トップページからでも、特設ページからでもPDFのダウンロードができます。参加組織に広くご活用ください。

今年は、Zoomでのオンライン開催になりますが、参加登録が必要です。各組合から中央団体または都道府県原水協を通じて参加を申し込みしてください。

日本原水協公式サイト・トップページ

<http://www.antiatom.org/index.html>

原水爆禁止 2021年世界大会特設ページ

http://www.antiatom.org/intro_activity/world_conference.html

<メイン企画>

- ・国際会議 8月2日(月) 10:00-12:30
- ・世界大会-ヒロシマデー集会 8月6日(金) 10:00-12:30
- ・世界大会-ナガサキデー集会 8月9日(月) 10:00-12:30

<広島・長崎 現地企画>

- 「ヒロシマから世界へ 2021年-被爆者との連帯のつどい」
8月6日(金) 14:00-15:30
- 「ナガサキから世界へ 2021年-被爆者との連帯のつどい」
8月9日(月) 13:30-15:00

<テーマ別集会>

- 8月4日(水) 15:00-17:00 テーマ別集会Ⅲ
枯葉剤被害60年・被害者との連帯
- 8月5日(木) 14:00-16:00 テーマ別集会Ⅱ
沖縄連帯・外国軍事基地撤去
- 8月7日(土) 10:00-12:00 テーマ別集会Ⅳ
非核・平和のアジアと運動の役割
- 8月7日(土) 15:00-17:30 テーマ別集会Ⅴ
考えよう!核兵器・経済・環境

8月8日(日) 14:00-16:00 テーマ別集会Ⅰ

被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を
— 禁止条約に参加する日本をめざして

関連企画

- ・科学者集会(8月1日 13:00-16:30)、映像のひろば(8月3日 10:00-12:00)、核兵器と原発(8月3日 14:00-16:00)、女性のつどい(8月7日 13:00-14:00)、Ring! link! Zero 2021(青年企画)(8月7日 18:00-19:00)、高校生平和集会(8月8日 14:00-16:30)
- ・階層別・分野別交流会として、国公労働者平和のつどい(8月5日 18:30)、民医連平和の波集会(8月6日 16:30)、教職員平和のつどい(8月6日 18:30-20:30)、自治体労働者平和のつどい(8月7日 13:00)

「平和の波」行動

・2021年8月2日から9日まで、核兵器廃絶を共通目標として、それぞれの国で核兵器禁止条約への支持と参加を呼びかけるグローバルな草の根の共同行動です。

核兵器のない平和で公正な世界へ連帯と共同を広げよう

核兵器禁止条約発効後の歴史的な世界大会への参加を呼びかけます

2021年7月27日

全国労働組合総連合
議長 小畑雅子

働く仲間のみなさん

原水爆禁止 2021年世界大会まであと1週間となりました。

今年の世界大会は、2017年7月7日に国連で採択された核兵器禁止条約が1月22日に発効して、初めての大会となります。禁止条約を批准した国は55か国（7月12日現在）となり、核保有国やその同盟国での世論調査でも核兵器禁止を求める世論が広がっています。日本国内でも、「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」が50万筆を超えて広がり、同趣旨の意見書を採択した地方議会は593議会（7月20日現在）にのぼっています。

一方、核保有国は、禁止条約に加盟しなければ直接の法的拘束力は受けないとして、引き続き核兵器の近代化を進めています。バイデン米政権の対中戦略と中国の国際法違反の覇権主義的行動による米中の対立のもとで、アメリカの同盟国である日本や韓国、オーストラリアやインド、NATO加盟国らが、台湾への関与も含めて米国との連携を強めています。とくに、アメリカの核抑止力にしがみついた菅政権が、禁止条約に背を向けるばかりか、日米軍事一体化と軍力増強に突き進んでいることは重大です。南シナ海や台湾海峡で米中の軍事衝突が起これば、核兵器の使用が現実のものとなってしまいます。

いま、核兵器をなくすことは喫緊の課題であり、核兵器禁止条約の批准国を広げることが重要となっています。同時に、軍事一辺倒の政策や行動ではなく、国連憲章や国際法にのっとり、平和的解決、外交努力を行うことが不可欠です。

こうしたもとで「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を一人類と地球の未来のために」をテーマに開催される今年の世界大会は、禁止条約の歴史的な意義を再確認し、核保有国に対して違法な核兵器を「今すぐ廃絶せよ」、「核兵器禁止条約に参加せよ」と迫る重要な意義を持っています。同時に、非核平和のアジア・太平洋のための国際連帯を発展させるとともに、禁止条約に参加する日本を実現する決意を示す重要な意義を持っています。

また、「黒い雨」訴訟での広島高裁判決を受け入れ上告を断念した菅政権に対して、すべての被害者の救済を求めることも重要な課題です。

働く仲間の皆さん

世界大会は、8月2日に国際会議、同6日にヒロシマデー集会と現地企画、同9日にナガサキデー集会と現地企画、5つのテーマ別集会や関連企画が行われます。

2日の国際会議では、核保有国のアメリカとイギリス、インド、核依存国のベルギー、韓国、そして禁止条約の先頭に立つベトナムの代表が参加し発言します。6日のヒロシマデー集会では、来年1月に予定されている核兵器禁止条約第1回締約国会議の議長を務めるアレクサンダー・クメントさん（オーストリア大使）がゲストスピーカーとして参加します。9日のナガサキデー集会では、第10回NPT再検討会議主要委員会の議長を務めるサイエド・アイディドさん（国連マレーシア大使）がゲストスピーカーとして参加します。

核兵器廃絶の運動をリードする市民社会と国際政治をリードする国連や加盟国のリーダーとの交流も含め、自国政府の核兵器禁止条約への参加を焦点にした多彩な企画が盛りだくさんです。今年の世界大会もオンライン参加となりますが、昨年と違ってそれぞれの企画に参加登録が必要です。職場や地域の仲間に世界大会の魅力を語り、参加登録をすすめましょう。

以上

人類と地球の未来のために、核兵器全面禁止へ世界を動かそう 原水爆禁止2021年世界大会へあなたも

8月2日から9日まで、「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を一人類と地球の未来のために」をテーマに、原水爆禁止2021年世界大会が開催されます。コロナのパンデミックが今なお続くなかで、オンラインの条件を活かして、核兵器廃絶の流れをリードする市民社会の運動と国際政治をリードする国連や加盟各国のリーダーも招いて核兵器のない世界を実現する知恵と経験の豊かな交流を実現します。

世界大会のスタートは国際会議です。核保有国、核兵器依存国で活動する海外の代表とともに、世界大会のテーマにもとづく討論をおこないます。焦点は核兵器禁止条約への自国政府の参加です。

“核兵器全面禁止のための行動を” 欧米諸国、アジアの代表と討論

原水爆禁止2021年世界大会—国際会議

8月2日 10:00-12:30

日本原水爆被害者団体協議会事務局長の木戸季市さんがあいさつします。

核保有国からアメリカのジャッキー・カバンさん(西部諸州法律基金事務局長/平和首長会議)、イギリスのデイブ・ウエブさん(核軍縮キャンペーン=CND議長)、インドのアチン・バナイクさん(核軍縮平和連合)が参加します。アメリカの同盟国で核依存国であるベルギーのルド・デ・ブラバンデルさん(「平和」グループ)、韓国のイ・ジュンキユさん(韓神大学統一平和政策研究院先任研究員)の参加が決まっています。

アジアで核兵器禁止条約の先頭に立つベトナムのドン・フィ・クオンさん(ベトナム平和委員会事務局長)も参加します。



諸国政府と市民社会の共同をさらに オーストリア政府代表が発言、国会議員セッションも

原水爆禁止2021年世界大会—ヒロシマデー集会

8月6日 10:00-12:30

来年1月に予定されている核兵器禁止条約第1回締約国会議議長を務めるアレクサンダー・クメントさん(オーストリア欧州統合外務省軍縮軍備管理不拡散局長/大使)がゲストスピーカーとして登場。

松井一寛広島市長が来賓あいさつします。広島被爆者の眞牧智之さん(日本原水爆被害者団体協議会代表理事)が訴えます。

「核兵器のない世界への共同」がテーマのセッション1では、ベアトリス・フィンさん(核兵器廃絶国際キャンペーン=ICAN事務局長)、目加田説子さん(地雷廃絶日本キャンペーン副代表理事)らが参加します。文化企画では、女優の斉藤とも子さんが原爆詩を朗読します。

核兵器禁止条約に参加する日本を
特別企画として「核兵器禁止条約と日本」をテーマに国会議員セッションを予定しています。



世界の反核平和運動と交流・連帯

原水爆禁止2021年世界大会—ナガサキデー集会

8月9日 10:00-12:30

第10回NPPT再検討会議で核軍縮を扱う主要委員会1の議長を務めるサイエド・ハスリン・アイデイドさん(国連マレーシア政府代表部常駐代表/国連大使)がゲストスピーカーとして登場。田上富久長崎市長が来賓あいさつします。長崎被爆者の田中安次郎さん(長崎原爆被災者協議会評議員)とイ・ギュヨルさん(韓国原爆被害者協会会長)が訴えます。

「核兵器のない世界への共同」がテーマのセッション1では、フィリップ・ジェニングズさん(国際平和ビューロー=IPB共同会長)、篠原祥哲さん(世界宗教者平和会議日本委員会事務局長)の参加が決定しています。

「日本と世界、草の根の運動の交流」がテーマのセッション2では、ラルフ・ハチソンさん(アメリカ・オークリッジ環境平和連合核説明責任追及連合理事)、ロラン・ニベさん(フランス平和運動全国書記)が発言。日本各地から女性、青年労働者、高校生が発言します。





被爆者の声を聞こう 被爆地広島、長崎から世界に発信

**現地
企画**
形式：現地参加とオンライン
(Zoomウェビナー) 配信

ヒロシマから世界へ2021年 被爆者との連帯のつどい

日時：8月6日(金)14:00～16:00(予定)

場所：ロードビル3階ホール

内容：矢野都耶古さんと切明千枝子さんの被爆証言、広島市長挨拶、文化企画、アピール

主催：原水爆禁止世界大会実行委員会・同広島県実行委員会



矢野都耶古さん



切明千枝子さん

ナガサキから世界へ2021年 被爆者との連帯のつどい

日時：8月9日(月)13:00～15:00(予定)

場所：長崎県勤労福祉会館・講堂

内容：長崎原爆の被害の実相、平和の旅、横山照子さん(長崎被災協副会長)の被爆証言

主催：原水爆禁止世界大会実行委員会・同長崎県実行委員会



横山照子さん

★参加の仕方、費用などについて詳しくは、各県実行委員会(原水協)または、下記までお問い合わせください。

主催：原水爆禁止世界大会実行委員会
(問い合わせ)

東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階

原水爆禁止日本協議会気付

TEL.03-5842-6035 FAX.03-5842-6033

E-mail: antiatom55@hotmail.com



原水爆禁止2021年世界大会 テーマ別集会

Zoomによるオンライン開催

主人公はあなたです

I 被爆者とともに核兵器のない 平和で公正な世界を — 禁止条約に参加する日本をめざして

8月8日(日)14:00～16:00

核兵器禁止条約の発効を力に、NPT(核不拡散条約)第6条と再検討会議のこれまでの合意の実行、禁止条約への参加を求める世論と運動の発展が強く求められています。日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名運動の発展を焦点に交流をおこないます。広島被爆者の家島昌志さん(東友会代表理事)が参加します。



家島昌志さん

II 沖縄連帯・外国軍事基地撤去

8月5日(木)14:00～16:00

日本がアメリカの対中国戦略の前哨基地にされようとしているなか、核戦争を起させないためにも、辺野古新基地建設の反対や南西諸島の軍事基地化を許さないたたかい、外国の軍事基地撤去の運動を交流し、連帯をはかります。

IV 非核・平和のアジアと運動の役割

8月7日(土)10:00～12:00

アジアは核大国に囲まれ、北朝鮮の核問題など、私たちは核による絶滅の脅威の下で暮らしています。核兵器禁止条約の発効を力に、非核・平和のアジアをどうやって実現するか議論します。

V 考えよう！核兵器・経済・環境

8月7日(土)15:00～17:30

コロナ禍のもとで、核兵器、環境破壊、格差・貧困など人類が直面する脅威、危機をどう乗り越えるのかについて、高草木博さん(原水爆禁止日本協議会代表理事)、浜野子さん(同志社大学大学院ビジネス研究科教授)、武本匡弘さん(プロダイバー/環境活動家)が事前に寄せられた質問に答える形で課題と展望を明らかにします。



高草木 博さん



浜 矩子さん



武本 匡弘さん

関連企画

▶ 映像のひろば 8月3日(火)10:00～12:00

▶ 核兵器と原発 8月3日(火)14:00～16:00

「平和の波2021」について

8月2日から9日まで、全国と世界によびかける核兵器廃絶のための「平和の波2021」がおこなわれます。核兵器廃絶を共通の目標とし、それぞれの国で核兵器禁止条約への支持と参加をよびかけるグローバルな草の根の共同行動です。